

本日は清松総合鐵工株式会社様の今年一年の締めくくりとなる大忘年会が多くの皆様がご参集のもと盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

防衛大臣就任後、まだ一日も地元に戻れず、この年末年始も東京での公務日程となっており、皆様とお会いできる事を楽しみにしていましたが、出席することが出来ずに残念に思っています。

清松社長におかれましては大分県経済界のリーダーとしてのご活躍はもとより、地域における災害対策や、若手人材の育成などに多大なご尽力をいただき、心から敬意を表しますと共に感謝を申し上げます。

来年はいよいよ平成の時代が終わり、新しい時代の幕開けとなります。今年は、地元大分県をはじめ全国各地で地震や豪雨災害などが多く発生した大変な年でしたが、来年は穏やかな一年であって欲しいと願っています。

我が国の安全保障環境は厳しさを増しており、多くの課題が山積していますが、私も防衛大臣として国家の存立と国民の生命・財産を守るために全力で取り組んでいく覚悟です。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、清松総合鐵工様の更なるご発展と、清松社長ご夫妻はじめ、社員の皆様、本日も参集の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げてご挨拶とさせていただきます。

本日は忘年会のご盛会誠にありがとうございます。

平成三十年十二月三十日

防衛大臣 岩屋たけし